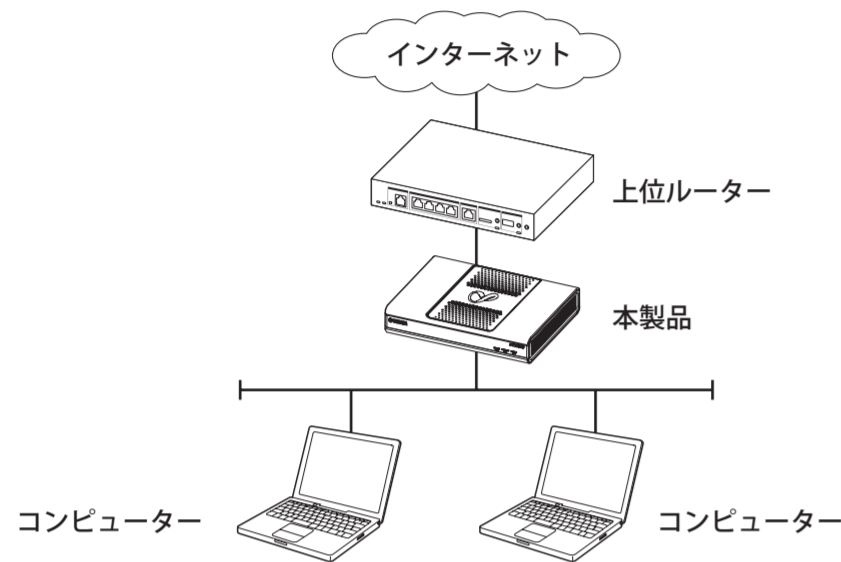


初期設定ガイド

本書では、工場出荷時の状態から、本製品の初期設定を行うまでの流れを説明しています。初期設定をはじめ前に「はじめにお読みください」に記載されている警告や注意をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。また、本書はなくさないように、大切に保管してください。

本製品はブリッジモードでの使用を推奨していますので、本書ではブリッジモードを例に説明します。この場合、本製品は上位ルーターの下位に接続します。

ブリッジモードの利用イメージ



設定をはじめ前にご用意ください

コンピューター

本製品の設定を行うコンピューターをご用意ください。

LANケーブル

付属のLANケーブルまたは、コンピューターまでの距離に合わせて、別途LANケーブルをご用意ください。

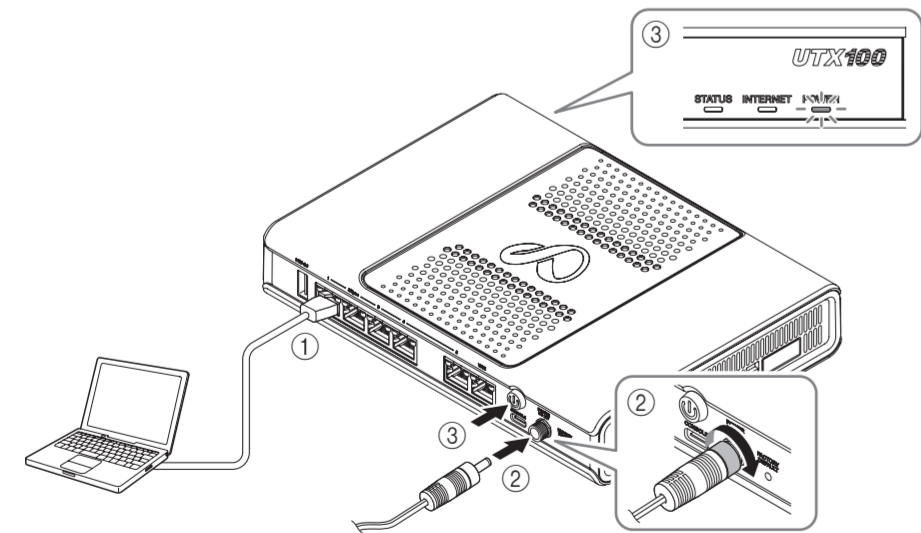
ネットワークの情報

本製品を設置するネットワークの下記の情報をご用意ください。

- 上位ルーターのIPアドレス
- 設置環境のサブネットマスク

1. 本製品を起動する

初期設定が完了するまで、本製品のWANポートにはケーブルを接続せずに操作を行います。



- ① 本製品のLANポートにコンピューターを接続する。
- ② 本製品に電源アダプターを接続する。  
付属の電源アダプターを電源コネクタに接続し、抜け防止ナットを締め付けて固定してください。
- ③ 本製品の電源を入れる。  
UTX200は電源アダプターをコンセントに接続すると自動的に電源が入ります。UTX100は電源アダプターをコンセントに接続し、電源ボタンを押します。起動が完了すると、POWERインジケーターが青色の点滅から点灯に変わります。

お知らせ

起動が完了するまで、約2～3分かかります。

初期設定ウィザードで設定する

工場出荷時の状態でWeb GUIへログインすると、初期設定ウィザードが表示されます。画面の指示に従い、初期設定を行ってください。

重要

本製品のWANポートにケーブルを接続した状態で手順を行うと、本書の案内どおりに設定できない可能性があります。  
 ・本製品のWANポートにケーブルが接続されていないことを確認してください。  
 ・WANポートへのケーブル接続は、手順「12. ネットワークに接続する」で行います。

お知らせ

- ・初期設定ウィザードは、設定の途中で中止しても、設定内容は保存されます。
- ・本書ではUTX100の画面で説明します。

2. Web GUIにログインする

本製品に接続したコンピューターで、Web GUIの初期設定ウィザードを開きます。

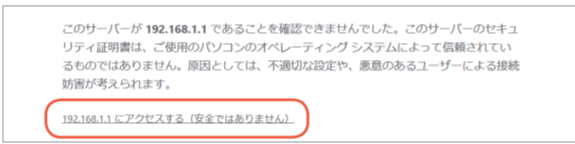
お知らせ

推奨Webブラウザについては、技術資料(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。本書では、Google Chromeを利用する場合を例に説明します。

- ① コンピューターでWebブラウザを起動する。
- ② アドレスバーに「https://192.168.1.1:4434/」と半角英数字で入力して、Enterキーを押す。
- ③ 「詳細設定」をクリックする。



- ④ 「192.168.1.1 にアクセスする(安全ではありません)」をクリックする。



初期設定ウィザードが表示されます。「次へ」をクリックし、初期設定を行ってください。



お知らせ

右上のメニューから、Web GUIの表示言語を切り替えることができます。

3. 認証の詳細を設定する

管理ユーザー情報を登録します。管理者名とパスワードを設定し、「次へ」をクリックしてください。

管理者名:

工場出荷時の状態では「admin」が入力されています。セキュリティ確保のため、変更することを強く推奨します。

パスワード:

管理パスワードを設定します。入力したパスワードは、●で表示されます。

パスワードの確認:

管理パスワードを再入力します。入力したパスワードは、●で表示されます。



4. アプライアンスの日付と時刻を設定する

本書では手動で時刻を設定する手順を例に説明します。「手動で時刻を設定」を選択し、現在の日付と時刻を設定し、「次へ」をクリックしてください。



5. アプライアンスの名前を設定する

本製品の名前を登録し、「次へ」をクリックしてください。

アプライアンスの名前:

この名前はレポートメール配信時にメールの件名に記載されます。工場出荷時の状態では「UTX-ID-XXXX(MACアドレス下8桁)」が入力されています。必要に応じて変更してください。

ドメイン名:

必要に応じて入力してください。

お知らせ

「アプライアンスの名前」と「ドメイン名」は、日本語には対応していません。半角英数字と「-」(ハイフン)で入力してください。



6. セキュリティポリシー管理を設定する

セキュリティ設定の管理方法を選択し、「次へ」をクリックしてください。本書では「ローカル管理」を選択しています。



7. インターネット接続を設定する

本製品を接続するネットワークに合わせて設定します。

- ① ネットワークの情報を設定する。

接続タイプ:  
初期で「ブリッジ」が選択されています。(変更不要)

IPアドレス:  
本製品で使用するIPアドレスとして、上位ルーターのサブネットに属するアドレスを入力します。

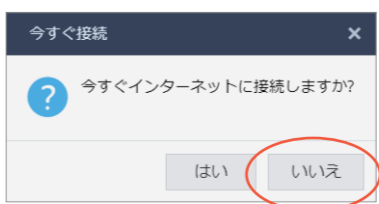
サブネットマスク:  
設置環境のサブネットマスクを入力します。

デフォルトゲートウェイ:  
上位ルーターのIPアドレスを入力します。

1番目のDNSサーバ:  
上位ルーターのIPアドレスを入力します。

2番目のDNSサーバ:  
任意で入力します。

- ② 「次へ」をクリックする。  
「今すぐ接続」画面が表示されます。
- ③ 「いいえ」をクリックする。



8. 管理者アクセスを設定する

本製品のWeb GUIへのアクセス制限を設定します。管理者アクセスについて、詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。

- ① 管理者アクセスを許可する発信元を選択する。  
「管理者アクセスを許可する発信元を選択してください。」:  
「WAN」だけを選択します。  
※「LAN」については、自動で許可設定になります。

「上記で選択した発信元からのアクセスを下記のIPアドレスから許可」:  
「インターネットからの指定IPアドレス  
インターネット以外からの任意のIPアドレス」を選択します。



※ ヤマハルーターで本製品を管理しない場合は、手順⑤に進んでください。

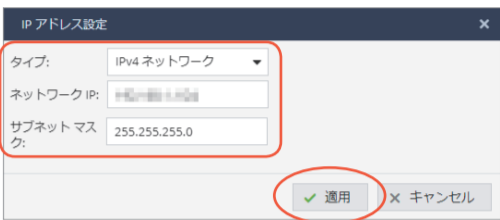
- ② 「新規」をクリックする。  
「IPアドレス設定」画面が表示されます。
- ③ 管理者アクセスを許可するネットワークを設定する。

タイプ:  
「IPv4ネットワーク」を選択します。  
※ 設定を変更すると、下の設定項目の表示が変わります。

ネットワークIP:  
本製品で使用するIPアドレスのネットワークアドレスを入力します。

サブネットマスク:  
設置環境のサブネットマスクを入力します。

- ④ 「適用」をクリックする。
- ⑤ 「次へ」をクリックする。



9. アプライアンスを登録する

ここではライセンスを有効化せず、トライアルライセンスを使用します。ライセンスについて、詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。



- ① 「次へ」をクリックする。  
「警告」画面が表示されます。
- ② 「OK」をクリックする。



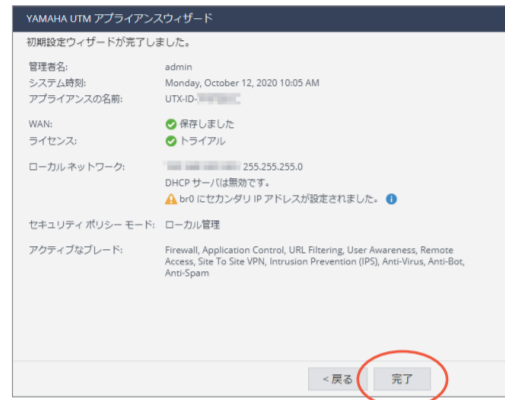
## 10. Software Bladeを有効化する

有効にするセキュリティー機能(Software Blade)を選択し、「次へ」をクリックしてください。本書ではすべて選択しています。

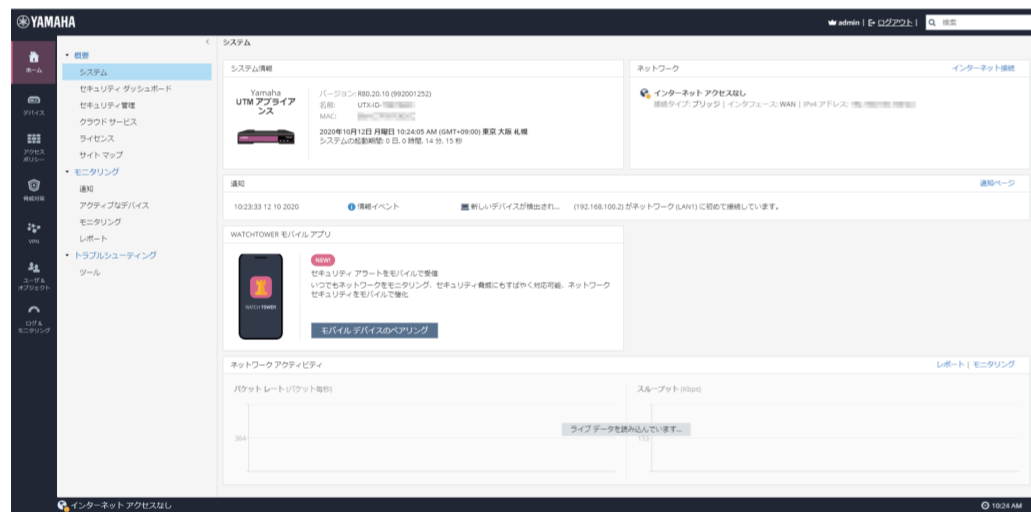


## 11. 設定内容を確認する

初期設定ウィザードで設定した内容に問題がないか確認します。問題がなければ「完了」をクリックしてください。



ホーム画面が表示されれば、初期設定ウィザードは完了です。



本製品を再起動し、「7. インターネット接続を設定する」で設定したIPアドレスで、Web GUIに再ログインしてください。



ログイン画面に「3. 認証の詳細を設定する」で設定した管理者名とパスワードを入力すると、Web GUIのホーム画面が表示されます。

## 12. ネットワークに接続する

本製品のWANポートと、上位ルーターのLANポートとを、LANケーブルで接続します。ネットワーク接続が完了すると、Web GUIのトップページに「インターネット 接続」と表示されます。



## 13. ライセンスを有効化する

トライアルライセンスの有効期間は30日です。トライアル期間内に以下の手順を行い、正式ライセンスを有効にしてください。

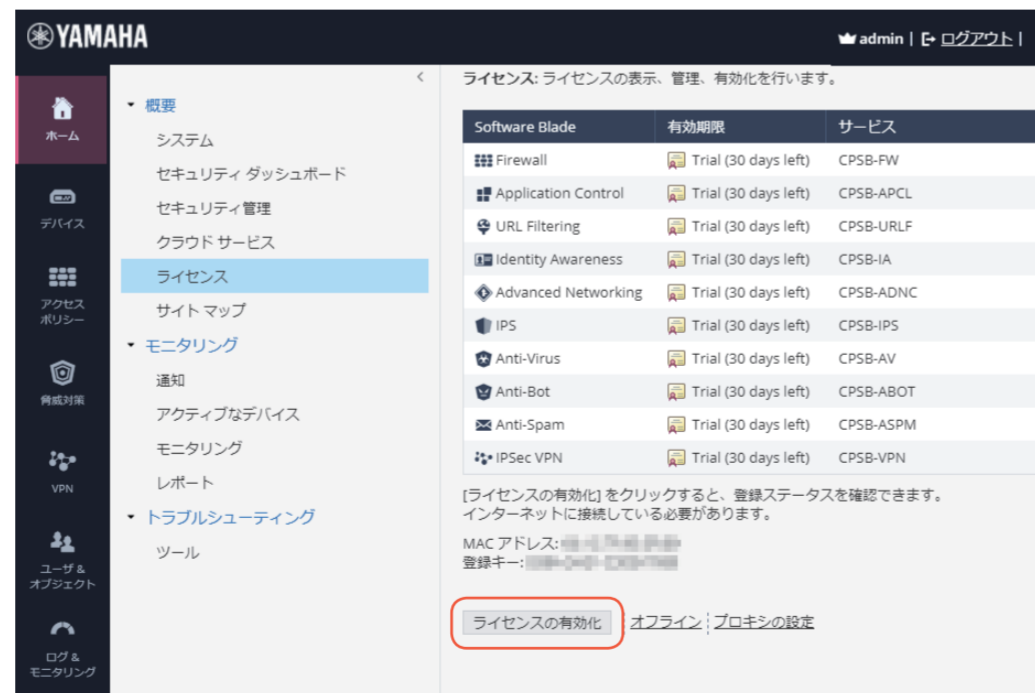
### 重要

- 正式ライセンスを有効化する前に、ライセンス登録用Webフォームでライセンス登録を行う必要があります。  
ライセンス登録用Webフォーム：<https://utx.networkyamaha.com>
- 正式ライセンスを有効化する前にトライアルライセンスが満了した場合、本製品のセキュリティー機能が使用できなくなります。ライセンス登録および正式ライセンスの有効化は、お早め実施してください。

- 「ホーム」、「ライセンス」の順にクリックします。



- 「ライセンスの有効化」をクリックします。



- 有効化の処理が完了すると、「警告」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックし、ページの表示を更新します。



一覧テーブルの、各機能のライセンス有効期限が更新されます。以上で、ライセンス有効化の手順は完了です。



## 初期化する

Web GUIにログインできないときは、本製品の電源が入った状態で、FACTORY DEFAULTボタンを3秒以上押し、工場出荷時の状態に戻してください。詳しくはユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)をご覧ください。